

進路だより

北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園 進路支援部
令和7年3月19日(水)
第37号

卒業後の進路状況

昨年度と今年度に卒業した卒業生の卒業後の進路状況をお知らせします。(予定も含む)

(就労の場)

就労形態	職種・障害福祉サービス形態	昨年度	今年度	主な仕事内容
企業就労	清掃	5名	3名	施設や工場内での清掃
	農業	0名	0名	農作業全般
	サービス	1名	0名	洗車 接客 食器洗浄
	物流	3名	0名	荷物の仕分けや運搬
	小売り	2名	2名	スーパーなどでの品出し
	福祉・医療	1名	0名	介護補助
	食品・調理補助	4名	2名	調理補助 食品製造
	製造	7名	5名	部品の組立 製造管理
	事務	0名	0名	書類作成 電話対応
障害福祉サービス事業	就労継続支援A型事業	7名	5名	農業 クリーニング 清掃 製造(組立・解体)
	就労継続支援B型事業	1名	1名	飲食補助 軽作業 清掃
	自立訓練事業(生活訓練)	1名	1名	生活能力の維持・向上
	就労移行支援事業	0名	0名	就労へ向けての訓練
合計人数		32名	19名	

本校では就労の場として企業就労する場合、製造・清掃・小売りが主な就労への職種となっています。製造・清掃では、長い時間働くことのできる体力と安全管理能力が必要とされています。また、小売りや食品・調理補助では、店頭で仕事をする人や人と接することが多いので、元気がよく気持ちの良い挨拶や身の回りを整理整頓できること、清潔さが必要とされています。

障害福祉サービス事業を利用するためには、諸々の手続きなどの準備期間として、2、3か月が必要となります。また、希望の障害福祉サービス事業所があっても、障害福祉サービス事業所には、定員があります。定員がいっぱいの場合、利用できないこともありますので、卒業後、障害福祉サービス事業をすぐに利用するためには、早めに進路の方向性を決めることが大切です。

全体的に障害福祉サービス事業を利用しながら、ステップアップして、企業への就労を目指していこうとする生徒たちの割合が増えています。



(生活の場)

障害福祉サービス形態	昨年度	今年度
共同生活援助(グループホーム)	3名	2名
宿泊型自立訓練事業	1名	0名
合計人数	4名	2名

生活の場として、卒業後すぐに自宅を出て、『生活に関する自立する力』を早めにつけようとする生徒が見られています。自立する力を早めにつけることは、働く上で、とても大切です。